

<参加申込書>

■参加申し込み方法

E-mail、もしくはFAXにて、希望会場、氏名、団体名・所属・役職名、住所、電話番号をご記入の上、お申し込みください。

尚、参加証・登録証は発行しませんので、あらかじめご了承ください。

(財)地球環境センター「地球温暖化フォーラム」係

E-mail: gec-cdm@unep.or.jp

FAX: 06-6915-0181

希望会場 → 東京・大阪
(どちらかに○をつけてください)

ふりがな
ご氏名: _____

団体名: _____

所属: _____

役職名: _____

住所: 〒 _____

TEL: _____

FAX: _____

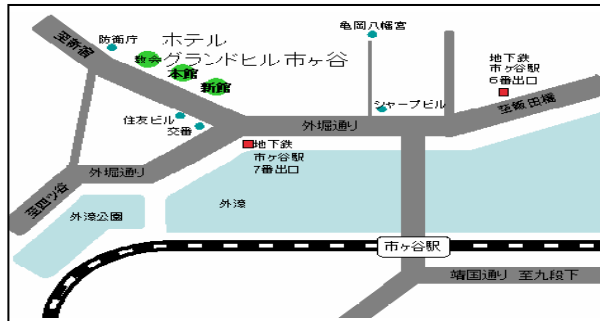
申込締切: 9月10日(金)

各会場とも、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

※会場には駐車場がございませんので、ご来場には公共機関をご利用ください。

<会場までのアクセス>

東京



- JR総武線・地下鉄有楽町線・南北線・新宿線
「市ヶ谷駅」より徒歩3分
- JR総武線・中央線・地下鉄丸ノ内線・南北線
「四ツ谷駅」より徒歩10分

大阪



- JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市バス(53系統 船津橋行)または(55系統 鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
- 下記各駅よりそれぞれ徒歩約10分
 - ・JR大阪環状線「福島駅」/ JR東西線「新福島駅」(2番出口)
 - ・阪神電鉄「福島駅」
 - ・大阪市営地下鉄「阿波座」(中央線:1号出口、千日前線:9号出口)
- リーガロイヤルホテル専用シャトルバスが、JR大阪駅中央出口前、地下鉄・京阪淀屋橋駅西詰より運行されておりますので、ご利用いただけます。(ただし、混雑によりご利用いただけない場合がございますので、ご注意ください。)

お問合せ先

(財)地球環境センター「地球温暖化フォーラム」係
〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2-110
TEL: 06-6915-4121 FAX: 06-6915-0181
<http://www.unep.or.jp/gec>

地球温暖化CDMフォーラム2004

~途上国との温暖化防止共同プロジェクトの実現に向けて~

1997年の気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)で採択された京都議定書には、先進国の温室効果ガス削減目標を達成するための措置として、「クリーン開発メカニズム(CDM)」などの制度が盛り込まれました。現在、京都議定書の発効にはロシア等の批准が待たれる状況です。

(財)地球環境センター(GEC)では、1999年度から環境省の委託を受けて、将来のCDM/JI事業として有望なプロジェクトを発掘するとともに、CDM/JIの仕組みに関する国内・国際のルールづくりに必要な知見を蓄積しています。

このフォーラムでは、平成15年度に実施されたCDM/JI事業調査の報告を中心に、温暖化防止に関する最新情報をご紹介します。

—入場無料—

《 東京会場 》

日時: 2004年9月14日(火)

13:00~16:30 (12:30受付開始)

会場: ホテルグランドヒル市ヶ谷 新館 瑠璃の間

住所: 東京都新宿区市谷本村町4-1

定員: 500名

《 大阪会場 》

日時: 2004年9月17日(金)

13:30~17:00 (13:00受付開始)

会場: グランキューブ大阪(大阪国際会議場)

特別会議場

住所: 大阪市北区中之島5-3-51

定員: 200名

後援: 大阪府・大阪市(予定)

主催: 環境省・(財)地球環境センター

<地球温暖化CDMフォーラム2004 東京・大阪プログラム>

東京会場(9月14日13:00~16:30)

13:00 ~ 14:30

- 開会あいさつ 小島 敏郎氏(環境省地球環境局長)
- 基調講演1:「京都メカニズム活用促進のための政府の取組について」(仮題) 水野 理氏(環境省地球環境局地球温暖化対策課国際対策室長)
- 基調講演2:「CDMをめぐる国際的情勢—方法論から市場動向まで」 松尾 直樹氏(Climata Experts 代表・シニアリサーチフェロー)
- 基調講演3:「CDM FS 調査のこれまでの成果と展望」 平石 尹彦氏((財)地球環境戦略研究機関 理事)

14:45 ~ 16:30

第一セッション

[平成15年度調査報告]

- (株)大林組
「タイ 廃棄物処理場(バンコク郊外)から発生するメタンガス有効利用施設の事業性調査・検証」
- 三菱証券(株)
「フィリピン 廃棄物埋立て処理場におけるメタンガス抑制およびエネルギー利用事業の実現可能性調査」
- 清水建設(株)
「中国 大連経済技術開発区下水汚泥等有機廃棄物のメタン発酵によるバイオガス利用事業調査」
- 電源開発(株)
「ルーマニア 廃棄物埋立処分場メタンガス有効利用調査」
- 日本環境コンサルタント(株)
「マレーシア 廃棄物のコンポスト化処理による埋立地からのメタンガス抑制事業計画実現可能性調査」
- (株)双日総合研究所 (旧 (株)日商岩井総合研究所)
「中国 半導体工場より排出される代替フロンを対象としたCDM事業化調査」
- 日本重化学工業(株)
「ロシア連邦 イルクーツク州での地中熱利用ヒートポンプによる地域暖房可能性基礎調査」
- 質疑応答

14:45 ~ 16:30

第二セッション

[平成15年度調査報告]

- (社)国際環境研究協会
「ブラジル 製糖廃棄物エネルギー転換プロジェクト実施可能性調査」
- (株)エックス都市研究所
「マレーシア パームオイル工場のメタン排出削減と固形廃棄物を利用したバイオマス産業の可能性に関する調査」
- (財)オイスカ
「フィリピン NGO主導による住民参加型植林事業可能性調査」
- (財)国際緑化推進センター
「インドネシア ロンボク島における住民参加型CDM環境植林可能性調査」
- 丸紅(株)
「カンボジア モントギリ高原におけるゴムノキ植林事業可能性調査」
- 王子製紙(株)
「マダガスカル トアマシナ州における循環型バイオマスプランテーションの事業化実施可能性調査」
- 住友林業(株)
「インドネシア 3州における植林及びバイオマスエネルギー利用プロジェクト事業調査」
- みずほ証券(株)
「ハンガリー 共同実施事業(風力発電)の実現に向けた日本からの資金導入手法検討を含むFS」
- 質疑応答

大阪会場(9月17日13:30~17:00)

13:30 ~ 14:45

- 開会あいさつ 水本 敏一
(財)地球環境センター 専務理事)
- 基調講演1:「京都メカニズム活用促進のための政府の取組について」(仮題) 小笠原 靖氏
(環境省地球環境局地球温暖化対策課課長補佐)
- 基調講演2:「CDMをめぐる国際的情勢—方法論から市場動向まで」 松尾 直樹氏
Climate Experts 代表・シニアリサーチフェロー)
- 基調講演3:「CDM FS 調査のこれまでの成果と展望」 平石 尹彦氏
(財)地球環境戦略研究機関 理事)

15:00 ~ 17:00

[平成15年度調査報告]

- (株)関西総合環境センター
「タイ バガスとライスハスクを用いた熱電併給の事業化可能性調査」
- (株)パウワウプール
「タイ ひまわりを資源作物としたバイオディーゼル油製造に関する調査」
- 関西電力(株)
「ポーランド 柳植林事業を利用した石炭焚熱供給プラントのバイオマス転換事業調査」
- 豊田通商(株)
「ブラジル ランドフィルガス回収および発電事業からの炭素クレジット獲得調査」
- (財)廃棄物研究財団
「カンボジア プノンペン市廃棄物埋立処分場(Stung Mean Chey)から排出するメタンガス等(LFG)の回収による温室効果削減及びエネルギー活用事業のFS調査」
- 住友林業(株)
「インドネシア 3州における植林及びバイオマスエネルギー利用プロジェクト事業調査」
- (財)地球環境センター
他の14件の調査結果概要
- 質疑応答

※東京会場では、第一セッションと第二セッションを同時進行します。